

☆**地域における“顔の見える”専門職の多職種連携の推進のために！** **顔の見える化活動**

① **れんけいカフェ**（偶数月の第4水曜日）の第18回は6月26日（水）開催。「認知症施策推進大綱」、最高裁判所の成年後見の診断書作成や厚生労働省の身寄りのない高齢者への対応に関する資料の提示、意見交換の他、れんけいキッチンへの期待感が披露された。また、河内長野市高齢福祉課からは、冊子「認知症あったか安心マップ」の内容説明があった。第19回は8月28日（水）、第20回は10月23日（水）、いずれも午後2時（会議）から開催予定（申込不要）。当日、何かPRしたいことがあれば、事前に地域連携室迄連絡を！

② **れんけいキッチン**は7月12日（金）午後2時から開催予定。管理栄養士の方の講義はじめ、旬の夏野菜を使った減塩食（塩分量を気にしない）の調理実習を実施。＜於・河内長野市立市民交流センター（キックス）＞

③ 第5回 **在宅サロン“ミニ”**は、大阪府医師会救急医療週間行事の一つとして、9月29日（日）午前10時から、いきいきフェスタ会場内で開催予定（申込不要）。テーマは「いざ急変、まさかの時の〇〇〇！！ ～ブルーカードと任意後見～」。＜於・河内長野市立市民交流センター（キックス）＞ **市民啓発に向けて**

④ 第46回 **在宅サロン**は10月26日（土）午後2時30分から開催予定（今回は“ミニ”はなし）。テーマは「高齢者、認知症患者をめぐる法的問題 ～成年後見のススメ～」で、講師は、近畿大学医学部精神神経科学教室の花田一志先生。本サロンに参加希望の場合は、必要事項（医療機関名・TEL・FAX・氏名・職種）を書いて、地域連携室迄FAX（54-1567）にて要申込。＜於・河内長野市医師会館3階＞

⑤ 認知症に関する医療・介護連携のための**多職種連携研修会**は来年1月18日（土）午後2時から開催予定。講師は、松原市医師会の李利彦先生（認知症サポート医）の予定。＜於・ノバティホール＞

⑥ 「かわちながの連携シート」、「かわちながの連携シート＜サービス担当者会議用＞」、「かわちながの主治医意見書連絡シート」は、本会ホームページからワード版がダウンロード可能。

なお、FAXで連携シートが来た際は、ぜひ返信をお願いしたい。

ブルーカード・ニュース・**れもん通信**（ともに、今月発行はなし）

◇ **河内長野市地域ケア会議認知症施策検討委員会兼認知症初期集中支援チーム検討委員会**：5月29日（水）開催（於・河内長野市役所）
＜次回開催は11月27日（水）の予定＞

昨年度のチーム員活動報告、「認知症あったか安心マップ」の説明、高齢者の運転免許証更新問題の報告など。なお、「認知症地域連携連絡会」を「認知症あったかねっと」に改称。

□ **河内長野市医師会認知症部会**：第4回6月13日（木）開催（於・河内長野市医師会地域連携室会議室）

「かかりつけ医のための認知症診断マニュアル」の編集作業が行われた。他に、経過報告、意見交換、資料等の提示など。第5回は7月25日（木）午後2時から、地域連携室にて開催予定（別紙）。

5月27日（月）・6月24日（月）には、「おれんじチーム」のチーム員会議があった。

◇ **第1回ブルーカードシステムに関する打合せ**：6月26日（水）開催（於・河内長野市医師会館）

ブルーカードシステムのこれまでの経緯や運用状況の報告、MCSIによるクラウドシステムの導入（クラウド化）はじめ今後の展開、啓発活動等についての打合せを行った。現在の連携病院は6、協力病院は11。

☆ **ブルーカードシステム啓発活動** **市民啓発に向けて**

①青葉会(老人会):6月16日(日)開催(於・北青葉台自治会館)

②河内長野市歯科医師会総会:6月29日(土)開催(於・河内長野市立市民交流センター<キックス>)

いずれも、本会から、救急医療の現状、ブルーカードシステムの概要、「ブルーカード」発行の対象者、運用状況等について説明など。病院の参画状況などの質疑応答があった。

<ブルーカードシステムの運用状況>	○キーパーソン:娘・嫁(48%)、息子(24%)など
○「ブルーカード」発行:179件(再発行等含む)	○「ブルーカード」発行者:登録医(医師会員)
○「ブルーカード」発動:38件(うち救急隊出動25件)	⇒現在登録医42名・登録医療機関35機関(うち「ブルーカード」を発行した登録医は27名)
○「ブルーカード」発行時の患者平均年齢:86.5歳	

☆「終活」に関するお知らせ☆ ~ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の愛称は、「人生会議」に~

①文化庁は、5月20日(月)に「西国三十三所観音巡礼」(第1番青岸渡寺~第33番華嚴寺、番外3所)を、1,300年続く日本の「終活」の旅と捉え、“日本遺産”(有形・無形の歴史的価値ある文化財)に認定。また、金剛寺や観心寺を中心に栄えた河内長野市を、千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫と捉え、こちらも認定。上記2寺は、「新西国三十三観音巡礼」(第1番四天王寺~第33番瑠璃寺、客番5所)の霊場。現在“日本遺産”は全国で83件。



②超高齢社会における「終活」を理解し、それを実践するために、(イ)「多職種のためのしゅうかつ(終活)ガイド」
ンス ~今をよりよく、自分らしく生きる~と、文書のスズメとして(ロ)「元気なしゅうかつ(終活)マイ・ノート ~自分のために、周りのために~」(河内長野市版エンディングノート)を刊行。今般の改元・法律改正に伴う令和版を刊行(7月1日)。(イ)(ロ)の令和版を希望の場合は、地域連携室迄連絡を!

③大阪府立大学人間社会システム科学研究科「ハッピーエンドを語る会」は、次の通り。

○5月23日(木):第8回開催。エンディングノートと任意後見について、説明、ディスカッションなど。

○6月27日(木):第9回開催。人生の最終段階における(終末期)医療や看取り、認知症施策(認知症サポート医とは)について、説明、ディスカッションなど。(於・大阪府立大学A4棟305教室)

④「終活」に関する近隣医師会との懇談は、次の通り。

○松原市医師会との懇談:6月12日(水)開催(於・河内長野市医師会地域連携室) ガイダンス等のPR

○大阪狭山市医師会との懇談:6月13日(木)開催(於・大阪狭山市医師会館) ガイダンス等のPR

いずれも、本会から、上記ガイダンスとマイ・ノートの作成の経緯、趣旨、内容等の説明を行い、「会員の先生方はじめ、じわじわ広めて行ってほしい」と強調。他に、高齢者の運転問題等について意見交換など。

☆「関わり事例の窓」6:医療介護・成年後見等で相談があれば、地域連携室迄連絡を!

○関わり事例:●60代⇒暴言があり、困っていると。3月15日(金)から対応中。●80代⇒往診医を探してほしいと。5月9日(木)から対応中。●80代⇒病院を探してほしいと。5月20日(月)~6月19日(水)対応。<今年度累計:4件> ★専門職相談:8件・市民相談:3件。

◇河内長野市訪問看護ステーション連絡会:4月11日(木)・6月13日(木)開催(於・河内長野市医師会地域連携室)

両日とも、本会からブルーカードシステムの現況や今後の展開予定の説明、イベント開催の案内等があった。各ステーションからは、状況報告等があり、意見交換など。

◇河内長野市訪問看護ステーション交流会:6月19日(水)開催(於・河内長野市医師会館)

大阪府訪問看護実践研修(大阪府訪問看護ステーション協会)の一環として、災害対策研修会を実施。災害対策の実例をDVD(訪問看護における事前トリアージ)で共有し、地域での取組みについて考察等が行われた。

◇「KCCねっと」第3回研修会:6月20日(木)開催(於・河内長野市立市民交流センター<キックス>)

「認知症の人の支援を考える ～家族介護編」と題して、元気になれる介護セミナーが行われた。講演「介護におけるメンタルヘルス・介護の心得」の後、座談会が行われた。

◇南花台創生事業総合研究会:4月25日(木)・5月23日(木)・6月27日(木)開催(於・河内長野市役所)
いずれもコミヤテラス(南花台)でのイベント開催、各種事業内容についての進捗報告など。

◇河内長野市市民保健部との懇談:6月3日(月)・18日(火)・24日(月)。今年度の事業計画等について。

□大阪府医師会「医療情報に関する講演会」:4月11日(木)開催(於・大阪府医師会館)
医療を取り巻くICT化、多職種連携ネットワークについての情勢報告など。

☆【Pick Up】

○「河内長野市医師会業務案内書」(パンフレット)を発行し、本会事業について説明(別紙)。

☆【Topics】

○「超高齢社会におけるかかりつけ医のための適正処方の手引き」:日本医師会は、医師の診療支援として、下記冊子を刊行中。今般、③糖尿病が出された。コピー希望の場合は、地域連携室迄連絡を!

①安全な薬物療法→多剤併用の問題点、慎重な投与を要する薬物、服薬管理など。

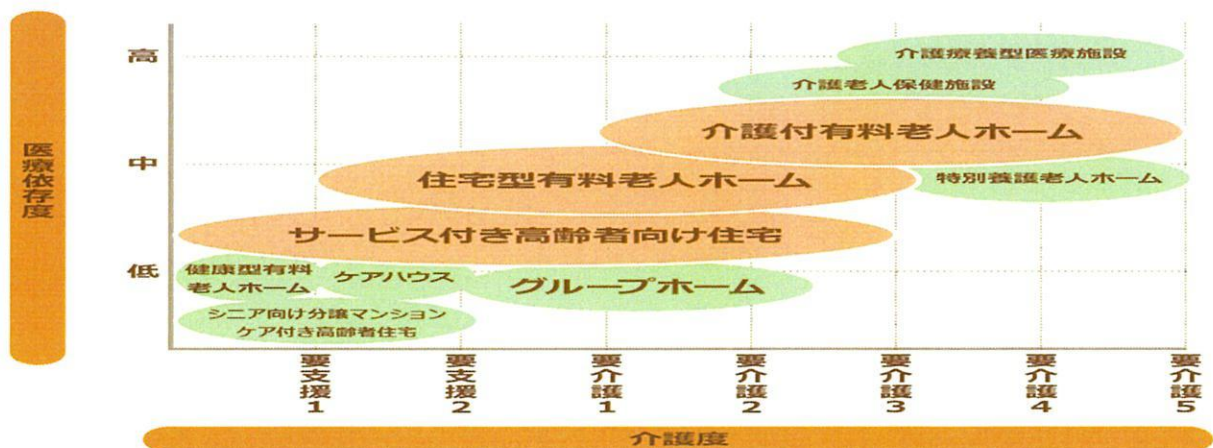
②認知症→現状と治療総論、中核症状やBPSDに対する薬物療法、薬剤使用の注意点など。

③糖尿病→現状と治療総論、高齢者糖尿病の現状・治療・薬物療法、薬剤使用の注意点など。

○「認知症 言葉のサポートブック ー意味性認知症を中心にー」:NPO法人認知症の人みんなのサポートセンターは、意味性認知症の解説冊子を今般発行。冊子希望の場合は、地域連携室迄連絡を!

○ノート「親心の記録 支援者の方々へ」:日本相続知財センターは、障害のある子を持つ親たちが、「親なきあと」、子どもを支援してくれる方々に、子どものことを知って貰い、子どもが安心して人生を全うできるようにと本ノート(本人の医療情報・生活スタイル・コミュニケーション力などを今般発行(別紙)。

○医療依存度と介護度の関係:介護情報コミュニティサイト「みんなの介護」によれば、次の通り。



☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL: 54-1700 FAX: 54-1567>

(まちのれんけい室)

<メールアドレス: chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>

令和元年7月1日(月)

会 員 各 位

一般社団法人河内長野市医師会
会 長 中 林 才 治
理 事 宮 崎 浩

第5回河内長野市医師会「認知症部会」の開催について

謹啓 仲夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本会では、認知症問題に関して、診診連携をはじめとする各種連携体制の推進を企図し、誰もが、安全で安心して暮らせる令和の新しい時代を現出すべく、認知症部会(以下、「本部会」)を設置し、種々の検討、懇談等を行っております。

業務ご多端の折、誠に恐縮ではありますが、下記の通り本部会を開催いたしたいと存じますので、ご出席を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、今回の開始時間は午後2時からです。また、参加の事前申込みはございません。当日直接、地域連携室会議室までお越し下さい。 謹白

記

- ☆日 時 7月25日(木)午後2時～(約1時間の予定)
- ☆場 所 河内長野市医師会地域連携室会議室(河内長野市菊水町2-13)
- ☆次 第 1. 開会・挨拶
(予定) 2. 報告・連絡
3. 検討
4. 確認・協議
5. その他(事例検討など)
6. 閉会

※駐車スペースあります。

☆連絡先：河内長野市医師会地域連携室

TEL 0721-54-1700

FAX 0721-54-1567

メール chikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com